

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | 放課後等デイサービス事業所 夕風 | | 公表日 | | 令和 8年 3月 1日 | |
|---------|------------------|--|-----|---------|--|---|
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 7 | 1 | 法令に遵守し適切なスペース確保、環境調整ができています。活動の重複により室内が狭く感じる時は個々のスケジュール変更で対応しています。 | 日によってプレイルームが手狭に感じることがあります。成長に合わせたスペースの確保やスケジュール調整をして適度な空間作りをするようにします。 |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 4 | 4 | 基準人員に加え、保育士と心理士を配置して手厚い支援ができるようにしています。 | 法令に沿った人員配置の体制はとれていますが、職員の急なお休みや子どもの状況により2人対応となった時に職員の不安が大きいです。負担軽減を図っていきます。 |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 8 | | 事業所内はバリアフリーで活動ごとにエリア分けし、視覚的にどこで何をしたら良いのかわかるようにしています。個々の特性に応じた環境調整や情報伝達を心がけています。 | 個々の成長段階に合わせて、情報伝達や環境調整を行うようにします。 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 8 | | 常に換気を行い、毎日、消毒や清掃を行い、気持ちよく過ごせるようにしています。個別に合わせた空間作りをしています。 | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 8 | | 子どもの状態に応じて個別の使用や、仕切って個別の場所を作るなどしています。 | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか。 | 6 | 2 | 目標設定や振り返りの話し合いを、朝礼の時や職員会議の時にし、期間を決めて実施した後、再度振り返りをするようにしています。 | 話し合いに参加できなかった職員との情報共有の即時性をITを活用して図っていきます。 |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 8 | | アンケート結果について職員間で共有し、課題と思われることは話し合い、改善に向けて努力しています。 | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 8 | | 朝礼時や支援に入る前後、職員会議等で意見交換をしています。出された案は実行し振り返りをするようにしています。 | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 8 | | 年2回 第三者評価を受け、改善点は改善するよう努めています。 | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。 | 6 | 2 | 外部研修や法人内研修等の学ぶ機会が設けられています。リモート視聴が増えたことでより学ぶ機会が増えていきます。 | 勤務時間が短い職員も、より多くのことが学べるようカリキュラムを作成し実施していきます。 |
| | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 8 | | 行政から示された手引きを参考に、適切な支援プログラムになるよう作成し公表をしています。 | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 8 | | 日々の支援の中でアセスメントを行い、ケア会議や送迎時にニーズや課題を把握し、職員間で共有、分析し支援計画を作成しています。 | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 8 | | 子どもの状況、背景、ニーズを職員間で共有し、考慮、検討しながらその子にとって一番良い計画を作るようにしています。 | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 8 | | 職員会議や朝礼、IT等を通じて常に共有し統一した支援ができるようにしています。定期的に進捗確認を行っています。 | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 7 | 1 | アセスメントは日々の支援中や送迎時に行い、氷山モデル、特性シートなどを活用しながら行っています。 | 成長に合わせて再度、アセスメントしたり、ツールの再作成をしています。 |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 8 | | ガイドラインを遵守し、普段の支援の中でのアセスメントや、ケア会議でのご本人やご家族のお話などから、ニーズや課題について分析し、各項目ごとに具体的に目標や支援内容を設定するようにしています。 | |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|---|---|---|--|
| 適切な支援の提供 | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 8 | | 担当職員を中心に、支援会議で意見や助言を出し合いながら立案しています。 | |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 8 | | その都度見直し、子どもの特性に合い、達成しやすく楽しみの持てる内容になるよう工夫しています。 | |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 8 | | ご本人やご家族のニーズ、発達段階を考慮しながら集団、個別の活動を組み込んだ個別支援計画を作成するようにしています。 | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 7 | 1 | 朝礼時、支援内容の振り返りや対応方法、役割を確認し連携できるようにしています。ITを活用しながら全職員が情報共有できるようにしています。 | 午後出勤の職員とも、支援内容や役割分担について確認する時間をつくるようにして、チームとして連携できるようにしていきます。 |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 5 | 3 | その日には時間的に難しいため、翌日、振り返りを行い対応方法を検討しています。緊急の場合は、当日中に情報共有、課題抽出、対応策を立てるようにしています。 | できるだけ当日中に、支援内容の振り返りや気づいた点等の共有ができるよう、些細な時間を活用しながら行っています。 |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 8 | | 日誌を見れば大体の子どもの様子が掴めるため、全職員で詳しい記入に努めています。記録を基に検証、改善に繋げています。 | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 8 | | 関係機関と連携しながら定期的にモニタリングを行い、必要に応じて計画の見直しを行っています。 | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。 | 8 | | ガイドラインの基本活動を基に、個々に合った活動を組み合わせ支援を行っています。 | |
| 関係機関や保護者との連携 | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 8 | | 生活上での様々な場面で選択の機会をもてるようにし、個々の学習スタイルに合った選択肢ができるようにしています。 | 本人目線での視点を心がけていきます。 |
| | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 8 | | 基本的には担当者、児童発達支援管理責任者が参画しています。担当職員が参加できない時は、子どものことを把握できている職員が参画するようにしています。 | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 6 | 2 | 状況に応じて関係機関と情報共有できるようにしています。 | 医療、教育等との連携強化をしていきます。 |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 8 | | 学校によりませんが、年間計画や月の行事予定表、下校時刻表を頂いています。学校迎え時に体調や様子の情報をいただいています。 | 学校と保護者間の連携ができていない時、事業所としての立場で適宜に対応させていただくようにします。 |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 7 | 1 | 相談支援専門員や保護者、関係事業所を介して情報収集をしています。 | |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 7 | 1 | 法人内への就労移行の時は、直接、現場へ行き支援内容の情報提供を行っています。法人外の場合は、ケア会議の場で情報提供をさせていただいたり、支援現場の見学受け入れを行っています。 | 情報提供できるフォーマット作成を検討していきます。 |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 4 | 4 | 児童発達支援センターの方が講師をする研修に参加し助言を頂くようにしています。法人内の多機能型療育サポートかぼのと連携をとっています。 | |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | 4 | 4 | 公共施設や公園を利用したり、お買い物を通して地域の子どもと交流する機会がもてるようにしています。 | 地域の子どもと接する場の開拓を検討していきます。 |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | 7 | 1 | 主に管理者が参加していますが、部会の内容に合わせて適宜に職員が参加するようにしています。 | 職員へ自立支援協議会でやっていることの情報提供をしていきます。 |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 8 | | 送りの時に状況を共有させていただいたり、連絡カードやLINEなどを活用して状況や課題を共有するようにしています。 | |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 8 | | ペアトレーニングはしていませんが、保護者対象の勉強会や意見交換できる場として少人数での茶話会を開催しています。 | より多くの方が勉強会、茶話会に参加できるよう企画していきます。 |

| | | | | | | |
|----------|--|--|---|---|---|--|
| 保護者への説明等 | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 8 | | 契約時に説明させていただいています。ご利用中に不明な点等あるときは、速やかに説明させていただくようにしています。 | |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 8 | | ご家族同席での会議や送迎したときに、ご本人やご家族の意向をお聞きするようにしています。状況に応じて面談日を設けて確認させていただくこともあります。 | |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 8 | | 計画内容を説明し、保護者の同意を得るようにしています。 | |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 8 | | 相談にのれる体制を整え迅速に対応できるようにしています。状況に応じて面談や助言をさせていただいたり、関係機関へ繋げるなどしています。 | |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 5 | 3 | 保護者向け勉強会と茶話会を月1回開催しています。保護者同士の交流する機会となっています。 | きょうだい同士で交流し楽しめる機会の場の提供を検討していきます。 |
| | 41 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 8 | | 苦情受付窓口を設置し、玄関先に窓口の説明と担当職員の顔写真付きでわかりやすく掲示しています。苦情があった時は、その日のうちに対応するようにしています。 | |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。 | 8 | | 定期的に通信の発行やHP掲載をしています。玄関の掲示版やLINEを活用して、作品展示や行事などの情報提供を行っています。 | |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 8 | | 毎年4月、子どもの写真撮影と使用許可のアンケートを実施した上で対応させていただいています。個人情報は鍵のかかる所へ保管し取扱いに十分注意するようにしています。 | 今後も個人情報の守秘義務の徹底を図っていきます。 |
| | 44 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 8 | | 個々に合わせたコミュニケーション手段をとるようにしています。保護者とは対面やLINEなどで情報伝達をしています。 | |
| 非常時等の対応 | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 7 | 1 | 地域の方と一緒に祭りやイベントを開いています。 | 事業所単独で地域との繋がりを作っていくような企画・運営を検討していきます。 |
| | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 8 | | 毎年、マニュアルの見直しを行い定期的に訓練や研修を行っています。ご家族へは、通信やHPに掲載し実施状況等、お伝えするようにしています。 | ご家族に各マニュアルを策定していることや、研修、訓練を実施していることの情報提供を積極的にしていきます。 |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 8 | | BCPマニュアルを策定し、定期的に火災や水害・災害時の避難訓練や研修を行っています。 | |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。 | 8 | | 契約時に服薬や発作時の対応方法、その他の情報をいただき、毎年のプロフィール更新時にも確認をするようにしています。 | |
| | 49 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 6 | 2 | 医師の指示書に基づく対応が保護者を通じてできるようにしています。職員間で周知徹底を行い適切な対応を心がけています。 | 食物アレルギーについて、定期的に確認や研修を行い、意識づけの徹底を図ります。 |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 7 | 1 | 作成した安全計画に沿って研修や訓練を実施しています。改善が必要なところは、直ちに改善するようにしています。 | 職員も安全計画の内容について周知できるようにします。 |
| | 51 | 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 7 | 1 | 災害時の対応については、状況に応じてその都度、文章やLINEでお知らせするようにしています。 | 災害時、ご家族と速やかな連携がとれるよう、日頃から安全計画についてお伝えしていくようにします。 |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 8 | | 些細なことでも記録し、毎月の職員会議で共有し対応策を検討しています。急ぐ案件は、その日のうちに検討し対策を立てています。 | |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 8 | | 定期的に虐待防止・身体拘束の研修を行い、職員間で振り返りや改善点の確認をしています。 | |
| 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 6 | 2 | 現在、身体拘束に該当する利用者はいませんが、定期的に身体拘束に該当していないか、該当した場合の対応方法について話をしています。 | 定期的に支援内容の振り返りや研修を行い、職員間で周知できるようにしていきます。 | |